



■この広報紙にあなたが写って  
いましたら、総務課企画係(☎82-  
4111内線 215)へご連絡くださ  
い。写真をさしあげます。



坂井 健くん  
(6歳・和納保育園)

わたしの自信作

佐藤 好恵ちゃん  
(6歳・和納保育園)

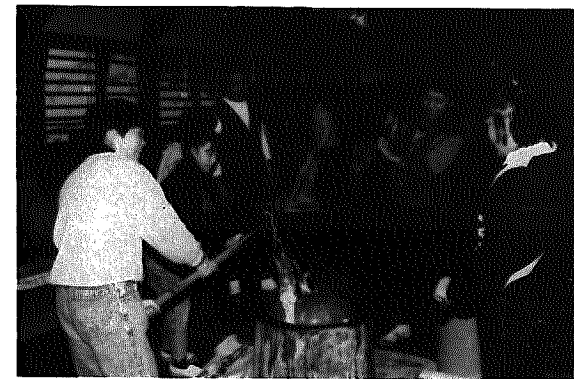
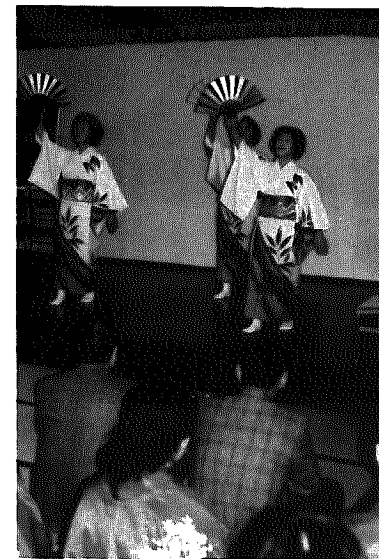


## 賑やかに厄落し!

—間瀬海雲寺で厄落しの豆まき—

2月3日は節分。どこの家庭でも“鬼は外、福は内”と豆まきをして楽しんだのではないのでしょうか。ここ間瀬の海雲寺(高山卓尔住職)でも先月3日、毎年恒例の節分行事が行われました。同寺の豆まきは、ことし厄年にあたる地区内の男女を招き厄落しを兼ねて行うもので、当日は、豆ばかりでなく、みかんやお菓子などもまかれ場内は大にぎわい。詰めかけた人たちも厄年の人たちと一緒に「今年の厄飛んで行け」と一生懸命に自分と家族の無事を祈っていました。

華やかな踊りの精演  
—第17回民謡放談会—



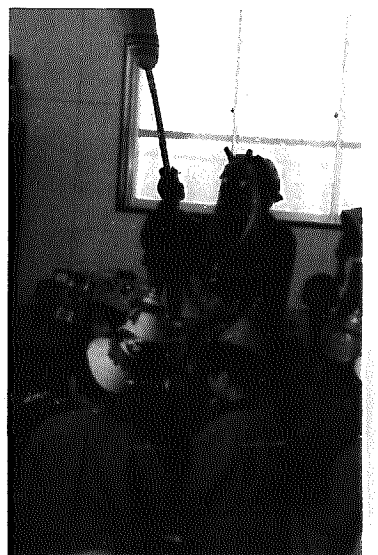
## 地域の人たちと楽しく交流

—間瀬小学校 恒例のもちつき大会—

「算数よくなればベッタン! 元気になあれベッタン!」と先月3日間瀬小学校で、地域の人たちを招き楽しい「もちつき大会」が開かれました。ことしは、米消費拡大を進める村米消費拡大推進協議会からモチ米25kgがプレゼントされ、会場の屋内運動場に用意された大きなウスで次々とつきあげられました。つきあがったモチは、さっそく、あんこ、油揚げなどで味つけされ参加者全員で舌鼓。美味しいおモチと楽しい催しに皆さん大喜びでした。

## 「赤鬼」退治に大はりきり

—中央保育園豆まき大会—



一方、こちら中央保育園でも先月二日(金)、園児総出の楽しい豆まきが行われました。保母さん扮する赤鬼、青鬼、黄鬼が大声をだしながら登場すると園内はもう大騒ぎ。さっそく園児らは悪い鬼めがけて「鬼は外、福は内!」と元気いっぱい豆を投げつけていました。でも中には鬼の怖さに逃げまどう園児もいましたが、その鬼が保母さん扮する鬼とわかるともう元気いっぱい。園内をどろどろ狭しとしゃぎ回り、楽しいひとときを過ごしていました。



今回入賞した(上段左から)大岩君、佐野君、山田君、阿部君、(下段左から)阿部君、川崎君、渡辺君、佐藤さん、小林君、花岡君、どの顔もうれしそうでした。

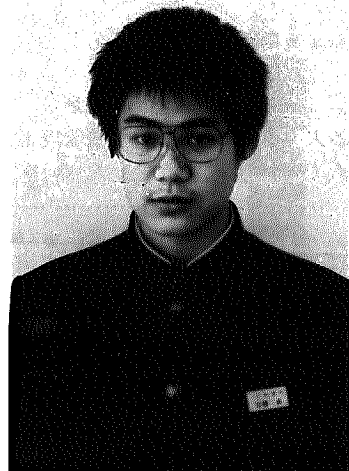
## やったぞ! アベック入賞

先月四日(日)、巻町公民館で行われた第八回西蒲原・燕地区剣道大会で、岩室剣士会(部員三十四名、指導中村、立川両先生)のチビッ子選手たちが好成績をおさめました。この大会には郡内及び燕地区から約五〇〇人が参加、熱のこもった好試合が繰り広げられました。岩室剣士会からは三チームが参加し、四年生以下の部、五、六年生の部のそれぞれに二位入賞というすばらしい成績を挙げました。同剣士会では、このすばらしい入賞をステップに次の大会でも好成績をおさめようと、まだ寒さも厳しい中、一段と練習に熱が入っていました。これからも同剣士会のますますの活躍を期待します。



去る十二月三日(日)に行われた平成元年度第2回実用英語技能検定試験(文部省認定・財団法人英語検定協会主催)の二級の部において、当村から受験した加藤卓くん(岩室中学校三年・和納十二区)が見事「文部大臣奨励賞」を受賞しました。この検定試験は年三回実施されているもので、この第二回検定試験には全国から三十九万二、〇八〇人が受験。合格者が十七万一、五五三人というむづかしい検定試験であり、加藤君はその合格者の中でも、きわめて優秀な成績で合格したことが認められたものです。この文部大臣奨励賞は、合格者十七万一、五五三人の中からただ一人に与えられるもので、今回、加藤君が見事その快挙を射止めました。「今回の加藤君の受賞は本当にすばらしいことです」とこのうれしい知らせに学校側も大喜び。表彰式は、今月八日東京都で行われるとのこと、本当におめでとうございます。

## 実用英語技能検定で見事「文部大臣奨励賞」受賞



加藤 卓くん(岩中3年)

「まさか文部大臣奨励賞なんて驚いています。本当にうれいんです。小さい頃、家にあった英会話のカセットを聞いたのがはじまりで、現在は中学校で「英会話クラブ」に所属しています。将来は、この英語を使える職業に就けたらいいですね」とうれしそうに話す加藤卓くんでした。